



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.org/>



済生会

わかやま

NEWS

第44号

発行日: 2021.8



～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

— 患者さんの権利と責務 —

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

初夏の候、先生方には大変お忙しく過ごされていることと存じます。昨年発生した新型コロナウイルス感染症は、医療の世界のみならず全世界に大きな変動をもたらしました。社会生活、活動、考え方を大きく変えなければならなくなっています。今までの考え方、価値観が通用しない世界になってしまいました。その中で、当院もコロナ感染を経験しました。川上院長の指導のもとに全員で対応しましたが、その対応の中で一番大事なのは、情報共有と情報伝達であることが改めて思い知らされました。これらがうまくいかないと、物事が決まっても、うまく動いていきません。平時から非常時のシステムを考えていかなければならない、ということを痛感しました。当院は、地域の住民の方々と登録医をはじめとする開業の先生方のご支援により、コロナ感染後も速やかに業務を再開できました。改めて心よりお礼を申し上げます。

当院の立ち位置は言うまでもなく、ご開業の先生方のお役に立ち、地域住民のニーズにこたえることです。このために積極的に救急を受け入れ、発熱外来を開設し、軽症のコロナ患者の受け入れも行ってきました。大病院では行っていない、かかりつけの患者様のコロナワクチン接種も行っています。今後も身の丈に合った、小回りの利く病院を目指して頑張っていきます。また、4月より外科メンバーが一新され、和歌山医大の消化器内科より研修医も派遣いただいています。消化器疾患の対応がより円滑になりました。

私事ですが、4月より統括副院長を拝命しました。役職は変わりましたが、中身は変わりません。川上院長のご指導の下、微力ですが務めさせていただきます。なにかございましたら、いつでもご一報ください。

今後とも済生会和歌山病院をよろしくお願い申し上げます。



統括副院長兼
糖尿代謝内科部長
英 肇

～ 新型コロナウイルスによるクラスターを経験して ～

感染管理看護師 佐藤 慎悟

2021年2月9日始業間もない頃、当院を退院した2名が新型コロナウイルス感染症に感染したという保健所より連絡が入りました。県の指導の下、同室者と当該病棟職員のPCR検査を実施することになり、同日夕方スタッフ1名の陽性が発覚しました。この時点ではICTコアメンバーでなんとかに対応していましたが、その後同室者や他病棟スタッフからも次々と陽性者が現れ、情報の管理や現場への情報伝達が困難な状態となり、保健所との電話対応に追われるなど一気にパニック状態になりました。

そこで2月12日からは、院内災害対策準備委員会と連携し、COVID-19対策本部を立ち上げ、災害モードにシフトしました。そこから情報の伝達や管理など一元化でき、徐々に終息に向けて舵を取り始めることができました。最終的に患者スタッフ併せて19名と当時和歌山県で1番大きなクラスターとなりました。期間中は院長先生はじめCOVID-19対策本部スタッフは、夜遅くまで休日返上で対応にあたりました。医療スタッフは鳴り止まない電話対応や目に見えない恐怖と戦い、心身ともに疲弊していました。県や保健所の迅速な対応や指導をいただいたおかげで、2月25日より病院機能を再開させることができました。

今回我々が経験した中で一番重要だと感じたのは、職員とのタイムリーな情報共有と職員のメンタルケアです。期間中は毎日各所属長を召集したCOVID-19特別委員会を開催していましたが、対策本部で集約した情報や決定した対策を、現場レベルまで周知させることが非常に難しく頭を悩ませました。またクラスターを経験した施設の情報などから、クラスターによるストレスや誹謗中傷による、スタッフの心身の乱れが懸念されていたので、メンタルケアの専門家がない中、なんとか効果的な対応ができないものか苦慮していました。おかげさまで他病院精神科医師のご協力の下、復職者への診察やその他相談させていただける体制を整えることができました。

一生懸命対応してきましたが、きめ細かな配慮にかけたり、うまく情報伝達できなかったり反省点は多々ありました。しかし、今回のクラスターを経験したことで、2度と同じ経験はしないという職員共通の強い思いが芽生え、手指衛生を中心とした標準予防策に関して、以前よりさらに本気になったと感じています。

我々がこれから行っていくべきは、みなさまの信頼を回復するために、この気持ちを忘れず感染対策に対する意識を維持していくことだと考えています。



COVID-19対策本部



病院玄関



病棟



ダイニングルーム



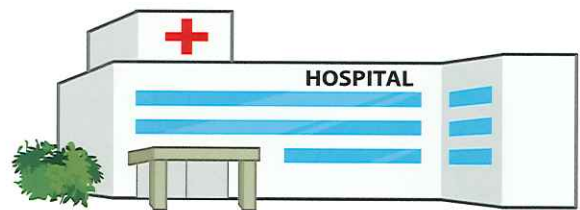
換気やドアノブ等できるだけ触らないようにドアを可能な限り開放しています。



新規入院患者全員に抗原定量検査を実施しています。



職員全員健康観察表を記載し管理しています。



～ 赴任のお知らせ ～



外科部長
坂田 好史 医師

この春から済生会和歌山病院外科(消化器外科)を担当させていただきます坂田好史です。公立那賀病院、橋本市市民病院と紀北地域で消化器外科手術を中心に診療してまいりましたが、このたび縁あり生まれ育った和歌山市で勤務できることとなり嬉しく思っております。

これまで培った診療技術をもとに、4月から腹腔鏡下ヘルニア手術や胆摘術だけでなく、胸腔鏡下食道癌手術、腹腔鏡下胃、大腸癌手術、肝胆膵手術を実施しています。今後もさらに研鑽を積みつつ消化器外科領域の手術、治療にあたる所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

趣味: 読書

好きな食べ物: 何でも食べます。



外科(手術室 部長)
木下 博之 医師

令和3年4月より外科に赴任致しました木下博之と申します。当院外科は今春メンバーが全員入れ替わり気持ちも新たに再始動致しました。

最近の外科診療は鏡視下手術手技の発展と新規抗がん剤の開発により日々進化しており、当院でも殆どの手術を腹腔鏡下に施行しております。外科の役割は患者さんそれぞれに見合った手術適応と術式を見定め、質の高い手術を提供することであると考えております。

今後とも御指導の程、宜しくお願い申し上げます。



外科
加藤 紘隆 医師

令和3年4月より外科に赴任してまいりました加藤紘隆と申します。平成26年に和歌山県立医科大学卒業を卒業し、初期研修を終えて、和歌山県立医科大学外科学第2講座へ入局しました。済生会和歌山病院では年間手術件数もそれほど多くありませんが、1例1例を大切にしながら診療を行い、和歌山県内、特に和歌山市内のニーズにこたえられるように日々精進してまいりたいと考えていますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

趣味: 何も考えずにボーっとすること

好きな食べ物: 日本中の地域特産物



リハビリテーション科
部長
石田 和也 医師

1999年和歌山県立医科大学を卒業し、和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座所属の石田和也と申します。2021年4月1日よりリハビリテーション科に赴任しました。和歌山県立医科大学附属病院をはじめ、いくつかの病院で急性期、回復期、生活期・維持期のリハビリテーション診療にあたってまいりました。「whole bodyでの診療」の観点から、リハビリテーション医療の必要な方に適切な診療を提供できるよう励んで参ります。皆様のお力添えを頂けますようどうぞよろしくお願い致します。

趣味: 読書

好きな食べ物: 鴨鍋



消化器内科
山崎 博史 医師

2021年4月より消化器内科に赴任しました山崎博史と申します。

和歌山県立医科大学附属病院での初期研修医終了後、同院第二内科入局し現在に至ります。川口部長のもとで消化器内科疾患の診療に当たらせていただきます。至らぬ点もあるかと思いますが、皆様のお役に立てる様最善を尽くしますので、どうぞよろしくお願い致します。

趣味: バドミントン

好きな食べ物: ケーキやチョコレートなど甘いもの



心臓血管外科
中西 靖佳 医師

4月より心臓血管外科に赴任して参りました中西靖佳と申します。これまでは和歌山県立医科大学附属病院や南和歌山医療センターなどで、心臓血管外科領域の診療に携わってきました。「心臓血管外科」というと、少し固いイメージがあり、なかなか受診しづらく悩まれている方もおられるのではないかと思います。そんな方々にも気軽に受診していただき、一緒に悩みを解決していけるような環境づくりができればなと思っています。まだまだ至らない点も多々あるかとは思いますが、地域の皆様のお役に立てるように精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

趣味: ダンス

好きな食べ物: いちご



呼吸器内科
高木 陽 医師

令和3年7月1日付けで呼吸器内科に赴任いたしました。これまでは順天堂大学呼吸器内科に所属し、肺癌や気管支喘息、COPD、間質性肺炎、胸部異常陰影などの呼吸器疾患を中心に診療してきました。これからは気軽にご相談頂けるような、地域の皆様に親しまれる医療を目指して精進して参りますので、どうかご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

趣味: ドライブ、映画鑑賞、古城巡り
好きな食べ物: 唐揚げ、ラーメン、ハンバーグ、ケーキ



整形外科
神前 拓平 医師

2021年7月1日をもって済生会和歌山病院に赴任させていただきました整形外科の神前拓平と申します。平成27年に和歌山県立医科大学を卒業し同大学の整形外科学講座に所属しています。地域の方の運動器機能の向上に貢献できるように努力させていただき所存です。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

趣味: 筋トレ
好きな食べ物: きのこ以外はなんでも好きです



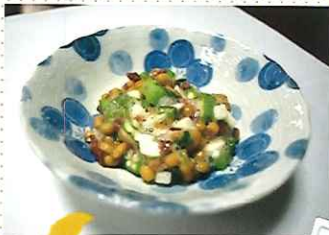
脳神経外科
土岐 尚嗣 医師

令和3年4月から脳神経外科に赴任いたしました土岐尚嗣と申します。藤田保健衛生大学(現 藤田医科大学)を卒業して、故郷の和歌山で研修を行い、その中で脳神経外科において手術とカテーテル両方を駆使して患者さんの疾患の治療をしていくところに惹かれ、入局いたしました。当院赴任前は人事の関係で岸和田徳洲会病院に3年間おり、久々の和歌山で、少しご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

趣味: マラソン、バドミントン
好きな食べ物: カレー

～ 栄養管理科から夏のオススメレシピの紹介～

ネバネバ納豆



アレンジ

ご飯や、そうめんなどの上に乗せて食べる場合は納豆を1パック使って食べるのもおすすめ!

夏にさっぱりビタミン・ミネラル補給しよう!!

材料

- ・納豆 1/2パック
- ・オクラ 20g (2本)
- ・長芋 20g
- ・梅干し 5g (1/2個)
- ・青しそ 1枚
- ・だし醤油 3g (付属のタレでもOK)

作り方

- 1 オクラは板ずりしてから湯がき、へたを取って輪切りにする。
- 2 長芋は皮を剥いて、さいの目切り。
- 3 梅干しは好みの大きさに切る。
- 4 青しそは洗ってから千切り。
- 5 納豆とオクラ、長芋、梅干し、青しそ、だし醤油をボウルに入れ混ぜ合わせ、盛り付ける。

オクラの旬は夏です!

オクラには
・カルシウム (ミネラル)
・カリウム (ミネラル)
・カロテン (ビタミン)
が多く含まれています!

ビタミン・ミネラルはたんぱく質・脂質・炭水化物が身体で使われるときに助けしてくれる栄養素です!



今年入職しました管理栄養士の岡本滞です!
夏でも食べやすいメニューを考えました。
先輩方に教えてもらいながら精一杯頑張ります!

エネルギー: 66 kcal
たんぱく質: 4.3 g
塩分相当量: 0.6 g

済生会和歌山病院外来診療予定表

(令和3年7月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	糖尿病代謝内科	藤原 舞美	福田 咲子 英 肇	太地 真衣美 担当医	英 肇	福田 咲子 担当医
	循環器内科	尾鼻 正弘 禁煙外来(午後~)	— 医大応援医師	— 尾鼻 正弘	下角 あい子 第2,第4のみ (1,3,5週目休診)	医大応援医師 下角 あい子
	呼吸器内科	高木 陽	—	赤松 弘朗	高木 陽	—
脳神経外科		岸野 洋子 三木 潤一郎	小倉 光博※1 土岐 尚嗣	小倉 光博※1 岸野 洋子	三木 潤一郎 土岐 尚嗣	仲 寛 (第1,3,4,5週) 山家 弘雄 (第2週)
消化器病センター 大腸肛門病センター	消化器内科	川口 雅功	—	川口 雅功	山崎 博史	川口 雅功
	外科(消化器)	木下 博之※2	—	坂田 好史※2	—	加藤 紘隆※2
心臓血管外科		湯崎 充 中西 靖佳※6	高垣 有作 (リンパ浮腫)	湯崎 充	上松 耕太 湯崎 充	湯崎 充
整形外科		前田 孝治	川上 守	新患診	川上 守	—
		神前 拓平	山崎 悟		山崎 悟	久保井 勇樹
		川上 守	久保井 勇樹 星野 晃廣		前田 孝治 神前 拓平	星野 晃廣 —
人工関節センター		—	—	—	山崎 悟※4	—
リハビリテーション科		—	—	—	石田 和也 上田 幸輝※5	—
耳鼻咽喉科		木村 責任	—	熊代 奈央子	—	—
腎センター		—	—	—	岡本 昌典	—
眼科		安田 慎吾	西 晃佑	—	松下 愛	臼井 佑太
皮膚科		栗本 麻奈	—	山本 有紀※3	—	—
泌尿器科		—	—	康原 根浩	—	和田 拓磨

専門外来

- ※1 脳神経外科 小倉光博医師(火・水・木)の外来では一般診療に加え、専門外来(三叉神経痛・片側顔面麻痺・舌咽神経痛・ものわすれ外来)を行っております。
- ※2 外科 一般診療に加え、大腸肛門外来を行っております。
- ※3 皮膚科 山本 有紀医師(水曜日)は皮膚科専門外来の為、予約診のみとなります。
- ※4 人工関節センター 山崎 悟医師(木曜日)は15:00~予約診のみとなります。
- ※5 リハビリテーション科(ボトックス外来)は13:00~15:00となります。
- ※6 心臓血管外科 中西 靖佳医師(月曜日)は13:00~15:00となります。



済生会和歌山病院
ホームページQRコード

診療案内

診察日:月~金曜日
 受付時間:午前8時30分~午前11時
 (但し、予約患者はこの限りにあらず/火・木 整形外科 川上は8:30~15:00)
 休診日:土・日・祝祭日(年末年始)
 面会時間:月~金曜日 午後2時~午後7時 土・日・祝祭日 午前10時~午後7時



ご紹介の際は、患者さんの待ち時間短縮の為に、ご予約をお取り下さいますようお願いいたします。

- ### 交通案内
- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
 - 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室
 TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187